

各部会報告資料

- ・子ども部会(P1)
- ・就労部会(P2)
- ・相談支援部会(P3)
- ・精神障がい者地域移行支援部会(P4)

平成27年8月18日

熊本市障がい者自立支援協議会

平成27年度 第2回熊本市障がい者自立支援協議会
子ども部会活動報告

【今年度の活動状況】

昨年度から引き続き、放課後等デイサービスに関する課題を整理し、市へ提出するための提案書の作成を行った。また、通年作業として「余暇支援マップ」づくりに取り組んでいる。

開催月	活 動 内 容
4月	<ul style="list-style-type: none"> ○自己紹介 ○部会長退任の意向確認 ○放課後等デイサービスに関するアンケート結果の進捗状況報告（事務局より）
5月	<ul style="list-style-type: none"> ○部会長、副部会長の選考方法について ○放課後等デイサービスに関する提案書の作成について（提案項目の意見出し）
6月	<ul style="list-style-type: none"> ○部会長、副部会長、委員交代の報告 部会長 ひばり園 丸内氏 副部会長 熊本市手をつなぐ育成会 西氏 ○放課後等デイサービスに関するアンケート結果をふまえた提案書の作成について（たたき台をもとに意見交換） ○余暇活動支援グループ分けの確認
7月	<ul style="list-style-type: none"> ○放課後等デイサービスに関する提案書の作成について（本会議提出のための最終確認） ○余暇活動支援グループワーク
8月	<ul style="list-style-type: none"> ○放課後等デイサービスに関する提案書の決定 ○余暇活動支援グループワーク

【今後の活動予定】

今年度後半は、様々なテーマでミニ研修を実施する。また、「余暇支援マップ」の完成に向けて取り組む。必要に応じて、事例検討を行う時間も設ける予定。

開催月	活 動 内 容
9月～ 3月	<ul style="list-style-type: none"> ◇研修会の実施（H26年度希望が出たもの） <ul style="list-style-type: none"> ①新保育制度（認定子ども園について） ②ひきこもり支援センター「リンク」について ③スクールソーシャルワーカーについて ④児童相談所の仕事について ◇余暇活動支援マップづくり（通年作業） ◇困難事例検討

平成27年度 第2回熊本市障がい者自立支援協議会 就労部会報告

今年度の取り組みについて

昨年度末に就労部会の参加者を対象にアンケート調査を実施し、参加者からいただいた就労部会についてのニーズを運営委員会で整理し、「企業就労班」、「福祉施設班」、「当事者対話班（チームフラット）」、「システム班」の4班に再編成しました。第1回目の部会の際に参加者に希望する班に分かれていただき、各班の年間目標と具体的な実施計画を検討するとともにリーダー・サブリーダーの選任を行いました。第2回目の部会より作業をスタートすることとなっています。また、運営委員会でミニ研修を企画し、第3回目の部会より開催しております。

【各作業班の目標・計画】

企業就労班 i) 障がい者雇用をしている企業の事例を掲載した情報誌の作成（「しごといく Vol.4」）
iii) 企業セミナーの開催（平成27年2月予定）

福祉施設班 i) 福祉サービス事業所（A型事業所）の自己評価表の作成
ii) 事業所間の連携を深め工賃アップを目指す内覧会の開催（平成27年2月予定）

当事者班 i) 当事者の方々の夢を実現する取組を実施（ラジオ放送）
ii) 研修会の開催（平成27年2月予定）

システム班 i) 既存のシステムの改良と普及活動
ii) 各班との連携による新たなシステムの検討
iii) 就労部会の取組についての広報活動（ホームページ開設）

【ミニ研修】

6月：中小企業家同友会障がい者雇用支援委員会の取組について（同会副委員長・篠原憲一氏）

7月：私学支援相談員派遣事業について（熊本時習館特別支援相談員・浦田裕之氏）

8月：熊本県地域生活定着支援センターの取組について（同センター相談員・山内瑠美氏）

今後の計画について

- 各班の年間行事計画に沿って、班ごとに作業を進めていく予定。
- 平成27年2月に各班合同で当事者とサポーター（企業や施設）を対象とした「就労フェア」を開催予定。

運営委員会の設置

各班のリーダー・サブリーダー、事務局である障がい保健福祉課とくまもと障がい者ワーク・ライフサポートセンター縁で構成された運営委員会を設置しております。昨年度に引き続き、運営委員会を中心に就労部会の状況に合わせたミニ研修を企画し開催しております。

平成 27 年度 第 2 回熊本市障がい者自立支援協議会
相談支援部会報告

開催日時 第 3 水曜 15:00～17:00

相談支援部会の取り組み内容

27 年度は 3 班に分かれ、それぞれの目的、役割を持ちながら取り組む。

- ①福祉サービスを考える班
- ②情報更新班
- ③ワークショップ事例検討班

① 「福祉サービスを考える班」

内容：福祉サービス全般について考える。

計画相談対応での現状課題を上げるために、参加事業所へ障がい福祉サービスについてアンケート実施。

月毎に居宅介護や就労等、1 つのテーマごとに課題を抽出し解決法を検討する。

② 「情報更新班」

内容・くらし部会から引き継ぎ事項の更新(グループホーム情報、ヨカ余暇情報便利帳)

- ・相談プラグの活用
- ・Q & A、ハンドブックとマニュアルの更新
- ・子ども部会で余暇支援マップ作成を予定されているので、情報依頼が重複しないように調整を図りながら情報収集を行う。

③ 「ワークショップ事例検討班」

内容：事例検討班で作成した架空の障害者の事例を数名のグループに分かれて検討。相談支援専門員の質の向上を目指す。

年間を通して、精神障がい者、身体障がい者、児童・発達障がい児のケースを作成し、各グループで解決法を模索する。

6 月に知的障がい者の事例検討を実施。

平成 27 年度 第 2 回熊本市障がい者自立支援協議会
精神障がい者地域移行支援部会（障がい者自立生活体制検討会）報告

【これまでの取組】

1 長期入院精神障がい者意向調査について

- ・ 5 月部会にて調査の概要説明と意見聴取

※調査の実施について熊本県精神科協会へ打診中であり、具体的なスケジュールについては、今後検討予定。

- ・ グループワークによる意見交換（2 回に分けて実施）

意向調査の実施に向け、部会メンバーで調査目的の共有化を図るために実施。

グループを医療機関と地域関係者（相談支援事業所等）に分け、それぞれの立場で「長期入院のイメージ」、「地域移行の妨げになっているもの」「医療と地域の連携の妨げになっていること・うまくやれたこと」等について意見を出し合った。

→長期入院のイメージについては、救急病棟では 3 ヶ月が目安になっている一方、療養病棟では数十年の長期入院者も多く、病院・病棟の機能等によりイメージが違っている状況。

地域移行の阻害要因は、本人の意欲低下、家族の理解の得られにくさ、社会資源の不足は共通しており、また、医療機関側は院内の支援者間の意識の違いや連携の難しさ、地域側は医療機関との連携や情報共有の難しさ等の意見が挙げられた。

医療機関・地域関係者とも顔の見える連携の必要性を挙げ、退院支援委員会における情報交換、院内連携の工夫、ネットワーク会議の活用、ピアの活用等の意見が出ていた。

2 人材育成研修の報告

熊本県が実施する地域移行支援研修に熊本市も協力して開催。事前研修に地域体制整備アドバイザー 2 名が参加し、7 月部会にて参加者に概要を報告した。

本研修は、12 月に開催予定。

【今後の予定】

○研修会の企画・開催

- ・ ピアサポーターの活動報告
- ・ 看護職との連携について（実践報告）
- ・ 委託相談支援事業所の活動紹介
- ・ 高齢入院患者地域支援事業の経過報告

○グループワーク

- ・ 意向調査の内容確認及び意見聴取
- ・ 困難事例等の検討